



取締役・管理部長
金子玉青さん

Tamako Kaneko

●取締役管理部長としてカンボジア事業を統括。1983年創業の同社は、大手建築機器レンタル会社から状態の良い日本製の良質な小型建機を定期的に仕入れ、国外で販売するリユース・バリューチェーンを確立する。

株式会社 ウエスト・マネージメント

〔福岡県田川郡香春町〕

**JICAとの連携事業で
カンボジアの道路を快適に**

高橋巨典(以下、高橋) 御社は2019年にJICAの民間連携事業に採択され、20年5月までカンボジアのプノンペンで「建設インフラを支える日本製中古小型建設機械の流通及び活用に関する基礎調査」を実施さ

れました。まずは、具体的な調査内容をお聞かせください。
金子玉青(以下、金子) 弊社は日本製の良質で、海上輸送用コンテナに収納可能な中古の小型建機をアジアを中心に輸出しています。調査では、将来的な輸出先の主要国としてカンボジアが適切であるのか、現場環境や市場動向をリサーチしました。
高橋 調査の対象国を、カンボジアと

した理由を教えてください。
金子 コロナ禍以前のGDPが例年約7%を継続するカンボジアでは、道路やビル建設が絶えません。しかし、実際に訪れた現場では適切な工法も建機も用いられていないため、壊れていたり、いたる所で補修工事が行われている状態でした。また、現場の建機は安価な他国製が大半を占めています。性能や耐久性が低く、状態の良い日本製の中古小型建機の需要を感じました。

JICA連携により得られた 現地行政機関からのサポート

高橋 そこで、本格的な調査のためJICAの民間連携事業に応募されましたが、ご苦労されたようですね。
金子 いろんな書類を作った応募したらいのかわからない状態からでしたので、JICA九州の担当者にも相談に行きました。そして、現地の産業界人材育成にも携わる北九州市立大学の吉村英俊教授のご協力のもと、なんと応募書類を作成することが

途上国SDGSビジネスが、 企業を成長させるチャンスに！ カンボジアの発展を支える日本の中古建機

SDGSビジネスを好機と捉え、自社製品やサービスで途上国の課題を解決し、成長を目指す企業が増えている。日本製中古小型建機でカンボジアにおけるインフラ工事の質の向上を試みる、ウエスト・マネージメントを取材した。



小型建機の
市場を調査



小型建機を扱うプノンペンの店にて、
流通する建機の評判などをリサーチ。



現地で新品の競合製品を
分解調査し、日本製中古品の普及を確信。

JICA民間連携事業とは

日本の民間企業は様々な分野で優れた製品・技術を有しており、開発途上国の社会的・経済的課題の解決に貢献する可能性をもっている。持続可能な開発目標(SDGs: Sustainable Development Goals)では、貧困からの脱却と持続可能な開発を実現するため、あらゆる関係者の連携が重視され、民間企業の技術やアイデアによる貢献への期待が高まり、開発途上国で多様なビジネスチャンスが拡大している。JICAは、政府開発援助(ODA)を通じた長年の協力により築いた開発途上国政府とのネットワークや信頼関係、事業のノウハウを活用し、開発途上国への展開を検討する日本企業を支援する。



途上国における開発上の課題解決に向け、 WIN-WINの事業を展開



民間連携事業の中でも、「中小企業・SDGSビジネス支援事業」は民間企業の優れた製品・技術・ノウハウを活用したい開発途上国と、その市場への進出を目指す企業の双方がWIN-WINの関係構築を目指す。事業を通して日本企業が世界各地で活躍することで、対象国の発展に貢献し、かつ日本国内の経済成長につなげることを目指している。

下記二次元コードを読みとると
JICA民間連携事業の
他の事例もお読みいただけます



高官出席の
会議で発表
労働職業訓練省の事務次官も参加した
会議で構想を発表。好評を得た。

高橋 JICAとの民間連携事業を活用して、カンボジアへ本格進出するための足場を着実に築いているのです。本日は将来の展望を感じたお話をありがとうございました。

でき、無事に採択いただきました。
高橋 今回の調査で、新たにわかったことなどはありましたか。
金子 視察した職業訓練大学では、入学したものの学費が払えず中途退学する生徒が5割から7割もいると聞きました。そこで思いついたのが、そんな学生たちに弊社の建機を整備してもらい、そのアルバイト代を学費に充てられないか、ということ。学校には自動車整備の実習場もあり、そこで学ぶ技術は小型建機の整備にも十分に転用できます。
高橋 素晴らしいプランですね。また、この調査がJICAとの民間連

携事業だからそのメリットもあつたと伺いました。
金子 弊社単独では難しい現地行政機関からの協力が得られたり、すでに現地で活動されている日本企業をご紹介いただくなど、スムーズな調査環境を整えていただきました。
高橋 基礎調査の結果、カンボジアでのビジネス展開は可能ですが、金子十分に可能ですし、将来性があると考えています。実際、昨秋より腕の良い整備士さんがいる販売兼修理店に直接販売を始めました。
高橋 すでに、次なる展開が始まっているようですね。

さらに詳細な案件化調査で
ビジネスモデル策定を目指す

金子 ビジネスモデル策定を目的とする「案件化調査」に応募し、再度JICAに採択していただきました。小型建機はこれまでの道路用のほか、建設現場での需要が高い建設用も導入対象に加えられました。また、今回の主眼は人材育成です。先の職業訓練大学の授業に、小型建機の整備とオペレーター育成のカリキュラムを提案したいと思っています。
高橋 JICAとの民間連携事業を活用して、カンボジアへ本格進出するための足場を着実に築いているのです。本日は将来の展望を感じたお話をありがとうございました。

フリーアナウンサー 高橋巨典さん



Kyoten Takahashi

●テレビ宮崎時代は「めざましテレビ」(フジテレビ系)で代理MCを務め人気を博す。現在、フリーアナウンサーとして九州地方で活躍中。福岡の最新情報を紹介する「もちもち浜ストア」(テレビ西日本)のメインMCを務める。